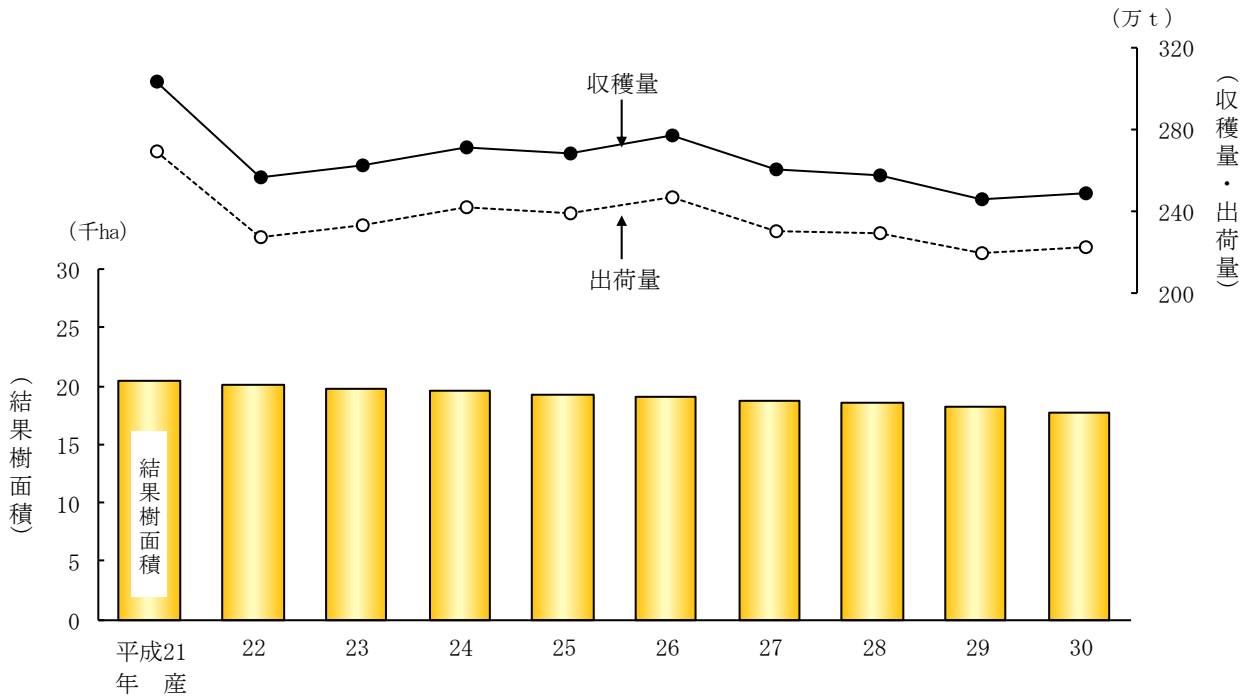


1 平成30年産果樹の結果樹面積・収穫量・出荷量の動向

平成30年産果樹の結果樹面積は17万7,800haで、前年産に比べ3,500ha（2％）減少した。
収穫量は249万t、出荷量は222万7,000tで、前年産に比べそれぞれ2万7,000t（1％）、3万2,000t（1％）増加した。

図1 果樹の結果樹面積・収穫量・出荷量の推移



注：1 パインアップルは、沖縄県のみの数値である。
2 パインアップルは、収穫面積である。

表1 平成30年産果樹の結果樹面積・10a当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	2) 対 前 年 産 比			
					結果樹 面 積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
計	ha	kg	t	t	%	%	%	%
	177,800	...	2,490,000	2,227,000	98	nc	101	101
み かん	39,600	1,950	773,700	691,200	95	101	96	96
り ん ご	36,200	2,090	756,100	679,600	99	104	103	104
日 本 な し	11,400	2,030	231,800	214,300	97	97	94	95
西 洋 な し	1,470	1,830	26,900	23,700	99	94	92	92
か き	19,100	1,090	208,000	172,200	96	96	92	92
び わ	1,170	238	2,790	2,300	94	81	77	78
も も	9,680	1,170	113,200	104,400	100	91	91	91
す も も	2,780	831	23,100	20,400	99	119	118	119
お う と う	4,350	416	18,100	16,200	100	95	95	94
う め	14,800	759	112,400	99,200	98	132	129	131
ぶ ど う	16,700	1,050	174,700	161,500	99	101	99	100
く り	18,300	90	16,500	13,000	97	91	88	90
1) パインアップル	319	2,300	7,340	7,160	101	86	86	86
キウイフルーツ	1,950	1,280	25,000	21,800	98	85	83	83

注： 1)は、沖縄県のみの数値である。また、結果樹面積は収穫面積である。
2)のみかんは、果実数が多くなる年（表年）と少なくなる年（裏年）とが交互に発生する傾向があることから、対前年産比については平成28年産と対比した。

2 品目別の結果樹面積・10a当たり収量・収穫量・出荷量

(1) みかん

ア 結果樹面積

結果樹面積は3万9,600haで、前年産に比べ1,000ha（2%）減少した。

なお、平成28年産に比べると1,900ha（5%）減少した。

これは、高齢化による労力不足に伴う廃園があったこと等による。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は1,950kgで、平成28年産に比べ10kg（1%）上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は77万3,700t、出荷量は69万1,200tで、平成28年産に比べると、それぞれ3万1,400t（4%）、2万6,300t（4%）減少した。

都道府県別にみた収穫量割合は、和歌山県が20%、静岡県が15%、愛媛県が15%、熊本県が12%となっており、この4県で全国の約6割を占めている。

品種別にみた収穫量割合は、早生温州が約6割を占めている。

図2 みかんの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移

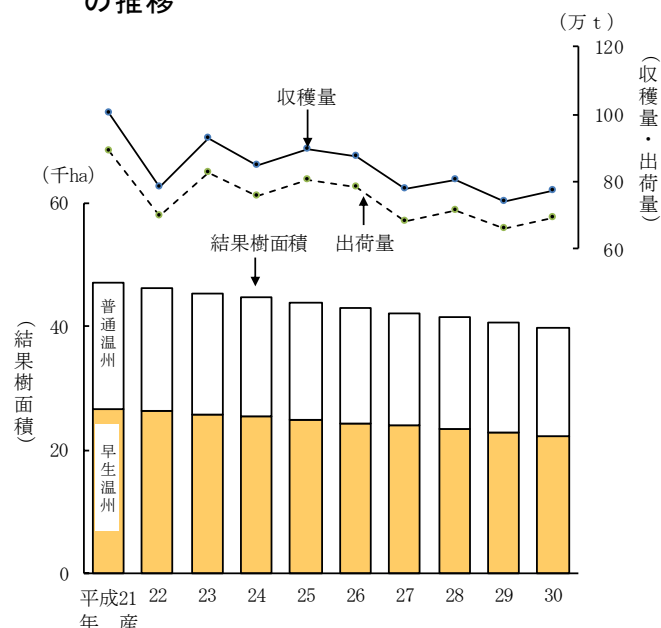


図3 みかんの都道府県別収穫量

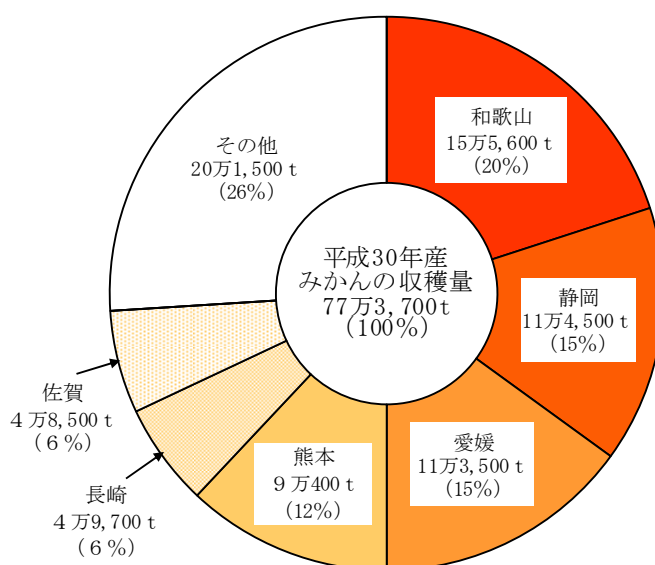


表2 平成30年産みかんの結果樹面積・10a当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

区 分	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量		出 荷 量	対29年産比 結果樹 面 積	対 28 年 産 比			
			実 数	割合			結果樹 面 積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	%	t	%	%	%	%	%
み か ん	39,600	1,950	773,700	100	691,200	98	95	101	96	96
早 生 温 州	22,200	1,990	442,600	57	400,600	97	95	102	97	97
うち 極早生みかん	6,550	1,840	120,200	16	109,600	96	92	104	95	96
ハウスみかん	403	4,990	20,100	3	19,200	97	93	103	95	96
普 通 温 州	17,400	1,900	331,100	43	290,600	98	96	98	95	95

注： みかんは、果実数が多くなる年（表年）と少なくなる年（裏年）とが交互に発生する傾向があることから、結果樹面積は前年産（平成29年産）及び前々年産（平成28年産）と、10a当たり収量、収穫量及び出荷量は前々年産（平成28年産）と対比した。

(2) りんご

ア 結果樹面積

結果樹面積は3万6,200haで、前年産に比べ300ha（1％）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は2,090kgで、前年産に比べ80kg（4％）上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は75万6,100t、出荷量は67万9,600tで、前年産に比べそれぞれ2万900t（3％）、2万3,800t（4％）増加した。
都道府県別にみた収穫量割合は、青森県が59%、長野県が19%となっており、この2県で全国の約8割を占めている。

品種別にみた収穫量割合は、ふじが約5割を占めている。

図4 りんごの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移

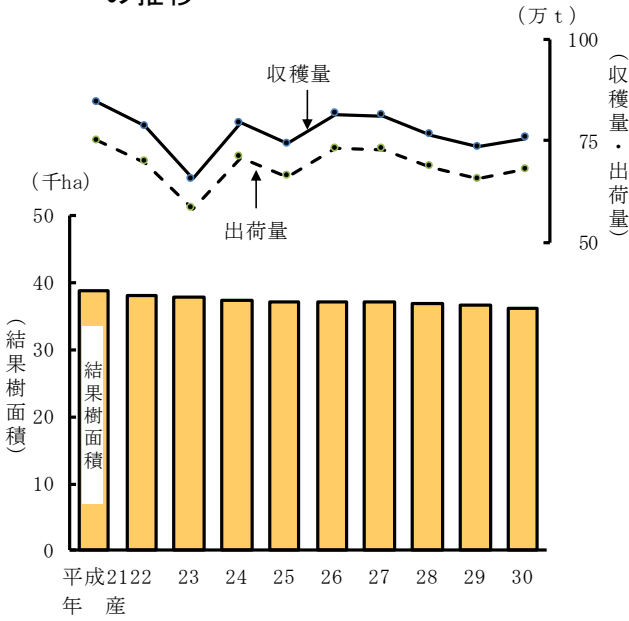


図5 りんごの都道府県別収穫量

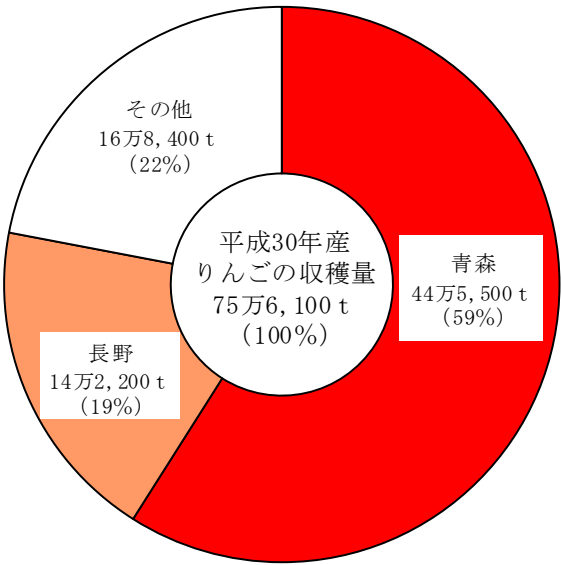


表3 平成30年産りんごの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目 ・ 品 種	結果樹面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量		出 荷 量	対前年産比			
			実 数	割合		結果樹 面 積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	%	t	%	%	%	%
り ん ご	36,200	2,090	756,100	100	679,600	99	104	103	104
うち ふ じ	18,600	2,170	403,000	53	364,000	99	109	107	108
つ が る	4,540	1,730	78,600	10	70,100	98	96	94	95
王 林	2,770	1,890	52,300	7	47,200	98	94	92	92
ジョナゴールド	2,500	1,960	49,000	6	44,400	98	97	95	95

(3) 日本なし

ア 結果樹面積

結果樹面積は1万1,400haで、前年産に比べ300ha（3％）減少した。

これは、高齢化による労力不足に伴う廃園があったこと等による。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は2,030kgで、前年産に比べ70kg（3％）下回った。

これは、果実肥大期の高温・少雨による影響や一部地域で台風による落果等の被害が発生したこと等による。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は23万1,800t、出荷量は21万4,300tで、前年産に比べ1万3,600t（6％）、1万2,300t（5％）減少した。

都道府県別の収穫量割合は、千葉県が13％、茨城県が10％、栃木県が9％、福島県及び鳥取県がそれぞれ7％、長野県が6％となっており、この6県で全国の約5割を占めている。

図6 日本なしの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移

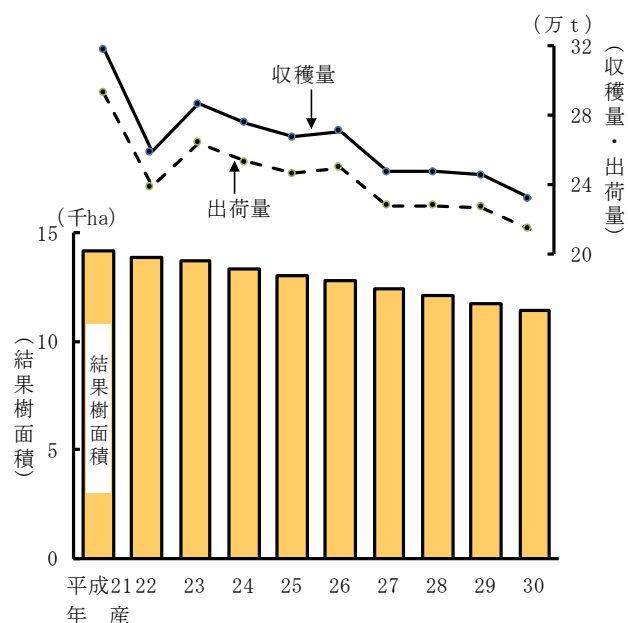


図7 日本なしの都道府県別収穫量

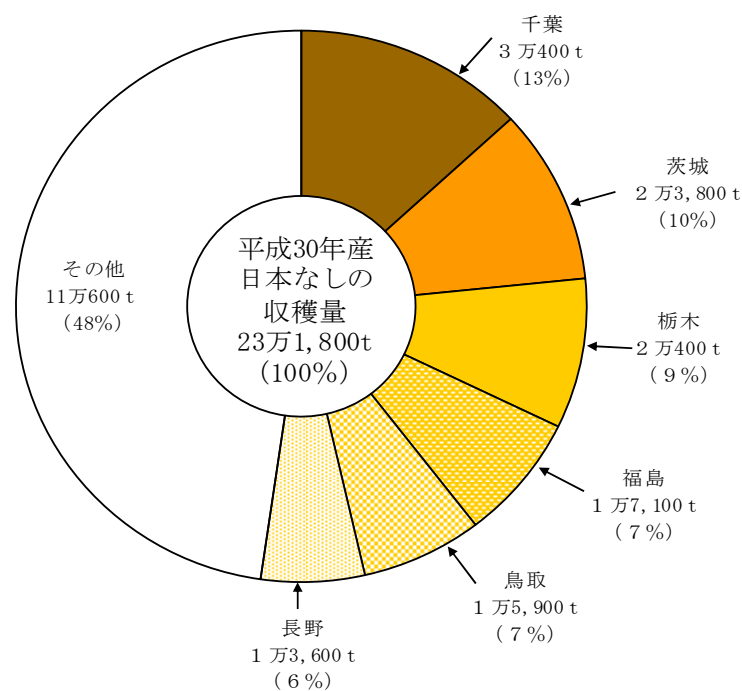


表4 平成30年産日本なしの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
日 本 な し	ha 11,400	kg 2,030	t 231,800	t 214,300	% 97	% 97	% 94	% 95

(4) 西洋なし

ア 結果樹面積

結果樹面積は1,470haで、前年産に比べ20ha（1％）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,830kgで、前年産に比べ120kg（6％）下回った。

これは、7月から8月の高温、少雨の影響で果実の肥大が抑制されたこと及び一部地域で台風による落果等の被害が発生したためである。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は2万6,900t、出荷量は2万3,700tで、前年産に比べそれぞれ2,200t（8％）、2,000t（8％）減少した。

都道府県別の収穫量割合は、山形県が全国の約7割を占めている。

図8 西洋なしの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移

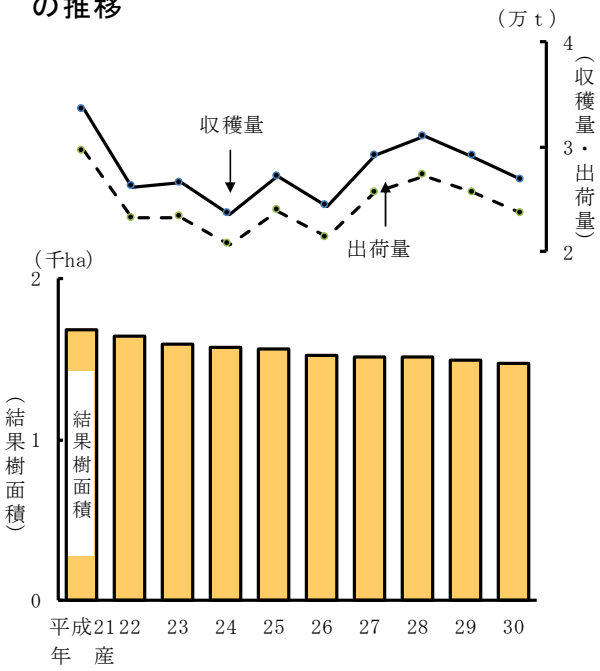


図9 西洋なしの都道府県別収穫量

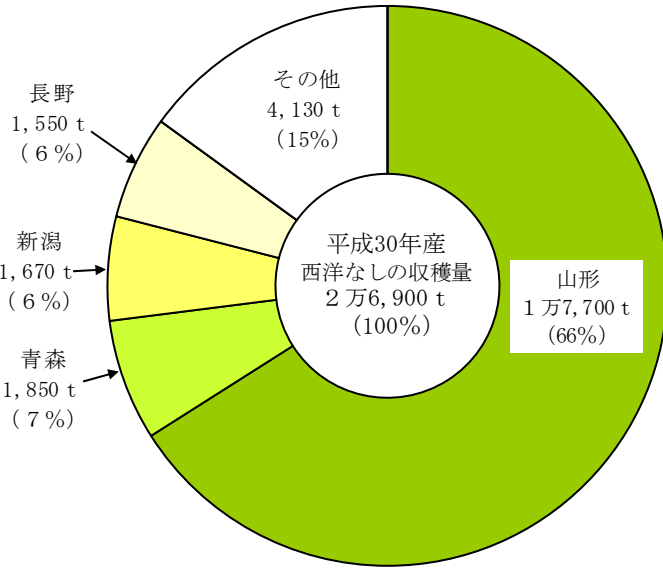


表5 平成30年産西洋なしの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
西 洋 な し	1,470	1,830	26,900	23,700	99	94	92	92

(5) かき

ア 結果樹面積

結果樹面積は1万9,100haで、前年産に比べ700ha（4％）減少した。

これは、高齢化による労力不足に伴う廃園があったこと等による。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,090kgで、前年産に比べ50kg（4％）下回った。

これは、7月から8月の高温、少雨の影響で果実の肥大が抑制されたこと及び一部地域で台風による枝折れ、落果等の被害が発生したためである。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は20万8,000t、出荷量は17万2,200tで、前年産に比べそれぞれ1万6,900t（8％）、1万4,200t（8％）減少した。

都道府県別の収穫量割合は、和歌山県が19％、奈良県が14％、福岡県が8％、岐阜県が7％、愛知県が6％、新潟県が5％となっており、この6県で全国の約6割を占めている。

図 10 かきの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移

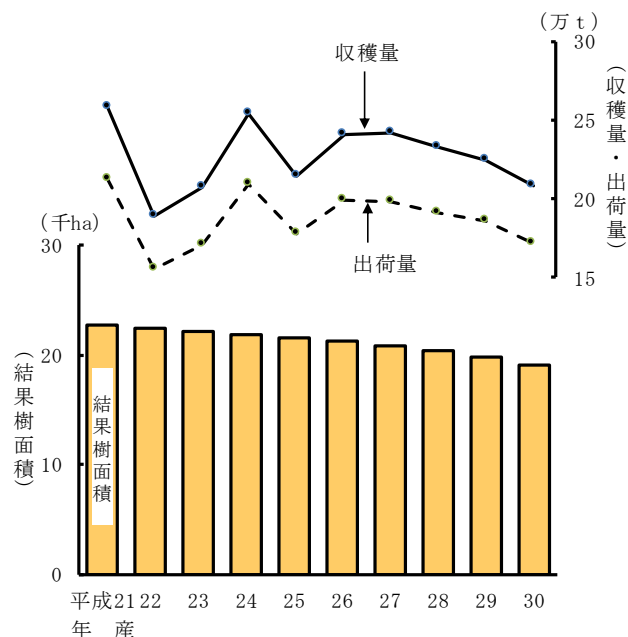
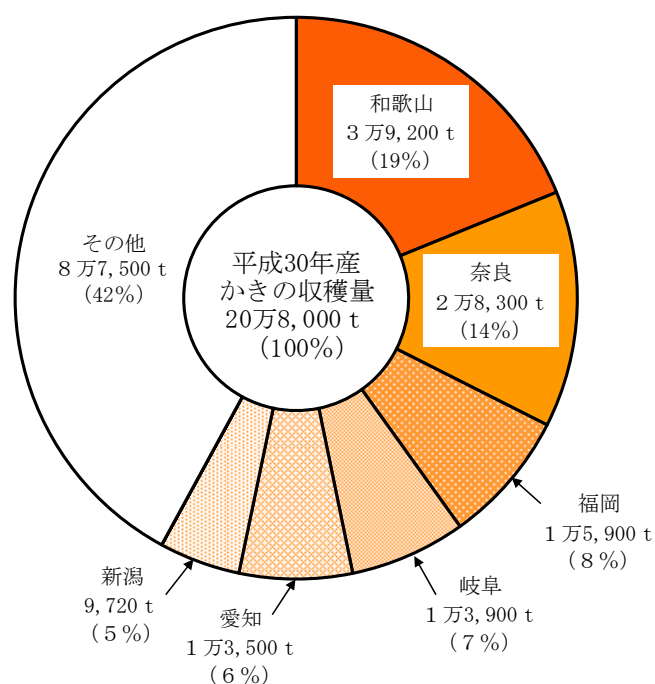


図 11 かきの都道府県別収穫量



注：割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

表 6 平成30年産かきの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
か き	19,100	1,090	208,000	172,200	96	96	92	92

(6) びわ

ア 結果樹面積

結果樹面積は1,170haで、前年産に比べ70ha（6％）減少した。

これは、高齢化による労力不足に伴う廃園があったこと等による。

イ 10 a 当たり収量

10 a 当たり収量は238kgで、前年産に比べ55kg（19％）下回った。

これは、1月から2月の低温の影響により着果数が少なくなったこと及び3月から4月の少雨の影響により肥大が抑制されたこと等による。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は2,790 t、出荷量は2,300 tで、前年産に比べそれぞれ840 t（23％）、650 t（22％）減少した。

都道府県別の収穫量割合は、長崎県が31％、千葉県が16％、鹿児島県が9％、香川県が8％となっており、この4県で全国の約6割を占めている。

図 12 びわの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移

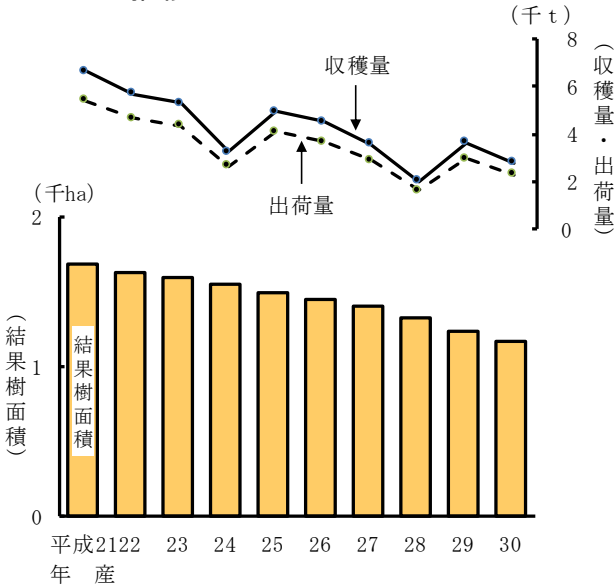


図 13 びわの都道府県別収穫量

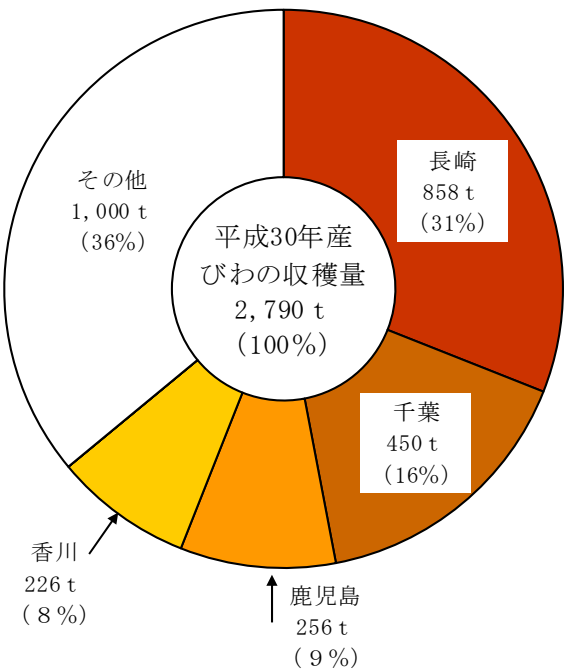


表 7 平成 30 年産びわの結果樹面積・10 a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
び わ	1,170	238	2,790	2,300	94	81	77	78

(7) もも

ア 結果樹面積

結果樹面積は9,680haで、前年産並みとなった。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,170kgで、前年産に比べ120kg（9％）下回った。

これは、果実肥大期の高温・少雨の影響により生育が抑制されたこと等による。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は11万3,200 t、出荷量は10万4,400 tで、前年産に比べそれぞれ1万1,700 t（9％）、1万700 t（9％）減少した。

都道府県別の収穫量割合は、山梨県が35%、福島県が21%、長野県が12%となっており、この3県で全国の約7割を占めている。

図 14 ももの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移

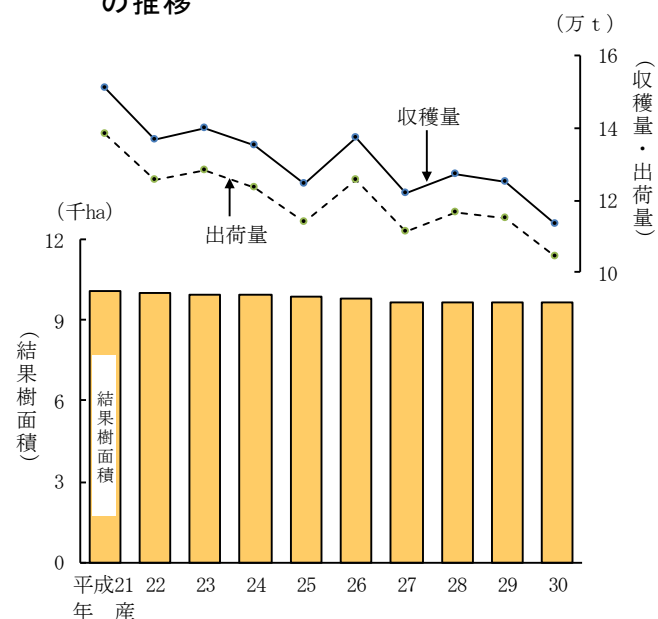


図 15 ももの都道府県別収穫量

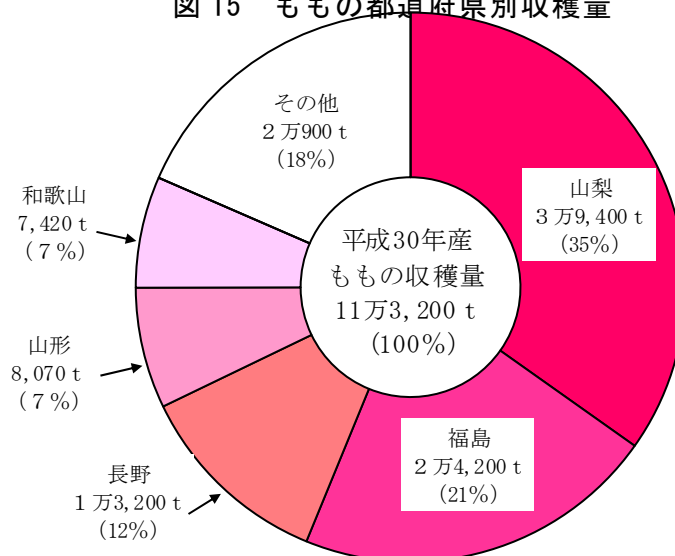


表 8 平成 30 年産ももの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当 たり 収 穫 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
も も	9,680	1,170	113,200	104,400	100	91	91	91

(8) すもも

ア 結果樹面積

結果樹面積は2,780haで、前年産に比べ30ha（1％）減少した。

イ 10 a 当たり収量

10 a 当たり収量は831kgで、前年産に比べ133kg（19％）上回った。
これは、着果数の減少や、果実肥大が抑制された前年産に比べ、着果数が多かったこと等による。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は2万3,100 t、出荷量は2万400 tで、前年産に比べそれぞれ3,500 t（18％）、3,300 t（19％）増加した。
都道府県別の収穫量割合は、山梨県が34％、和歌山県が14％、長野県が13％、山形県が9％となっており、この4県で全国の約7割を占めている。

図 16 すももの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移

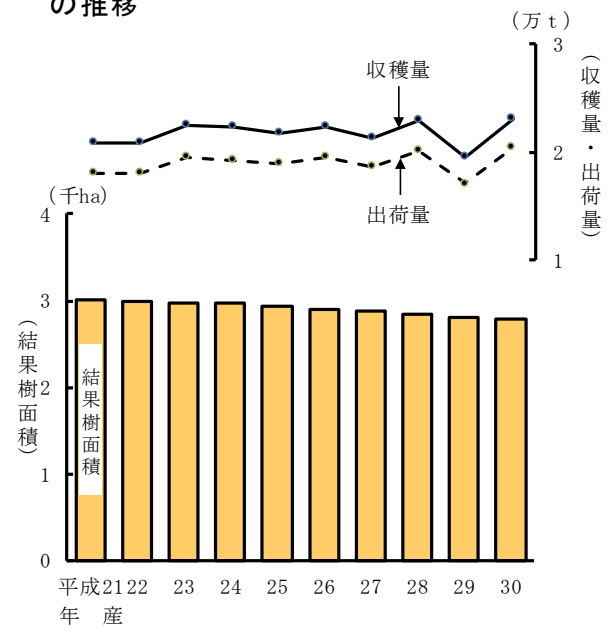


図 17 すももの都道府県別収穫量

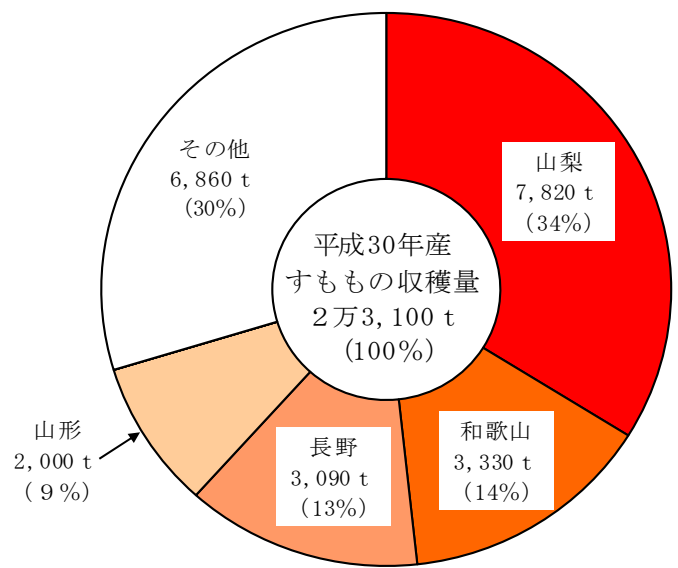


表 9 平成 30 年産すももの結果樹面積・10 a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
す も も	2,780	831	23,100	20,400	99	119	118	119

(9) おうとう

ア 結果樹面積

結果樹面積は4,350haで、前年産並みとなった。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は416kgで、前年産に比べ22kg（5%）下回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は1万8,100t、出荷量は1万6,200tで、前年産に比べそれぞれ1,000t（5%）、1,000t（6%）減少した。

都道府県別の収穫量割合は、山形県が全国の約8割を占めている。

図 18 おうとうの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移

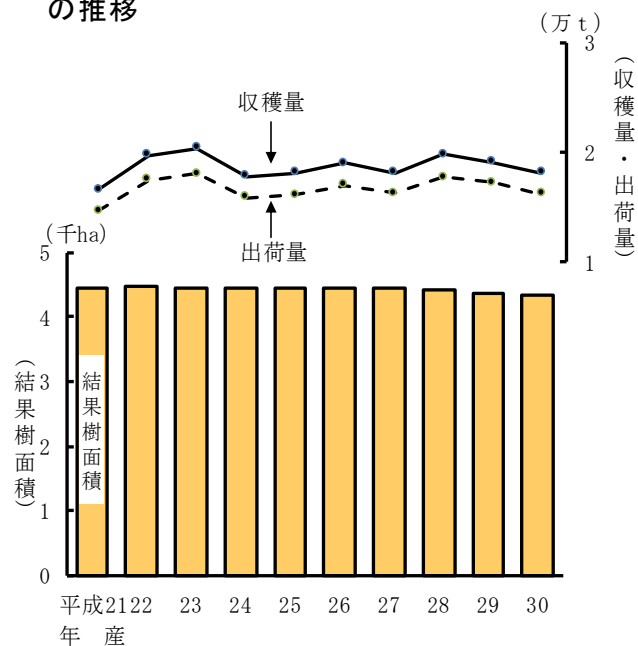


図 19 おうとうの都道府県別収穫量

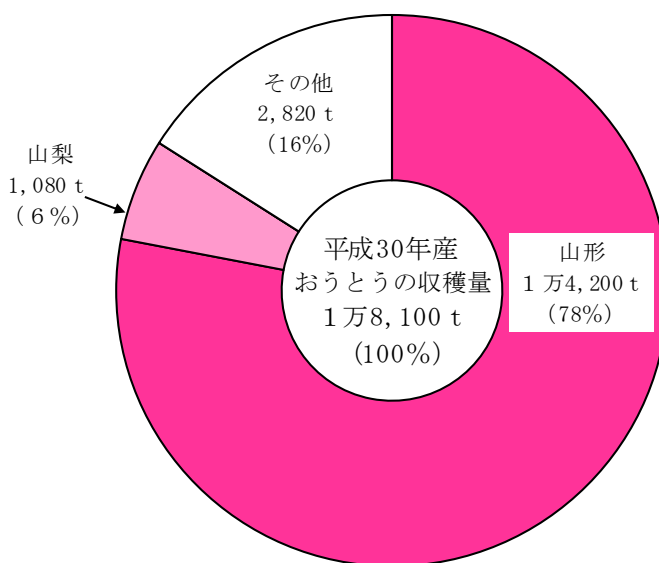


表 10 平成30年産おうとうの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
お う と う	4,350	416	18,100	16,200	100	95	95	94

(10) うめ

ア 結果樹面積

結果樹面積は1万4,800haで、前年産に比べ300ha（2％）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は759kgで、前年産に比べ184kg（32％）上回った。
これは、開花期の天候に恵まれ着果数が増加したこと等による。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は11万2,400t、出荷量は9万9,200tで、前年産に比べそれぞれ2万5,600t（29％）、2万3,600t（31％）増加した。
都道府県別の収穫量割合は、和歌山県が全国の約7割を占めている。

図20 うめの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移

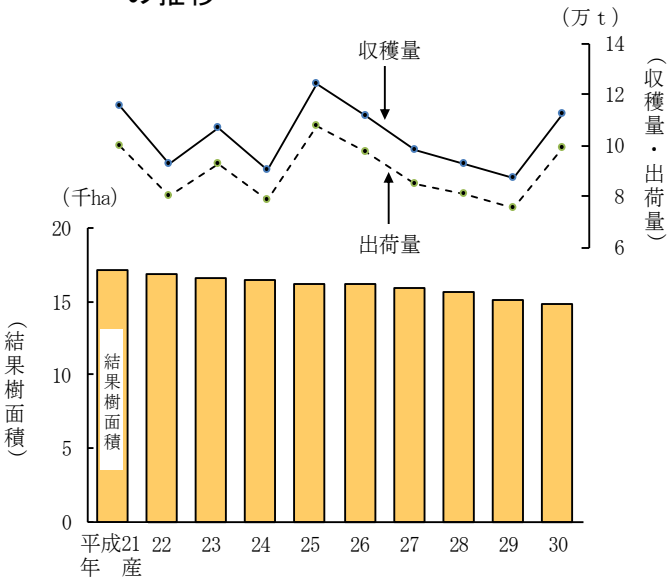


図21 うめの都道府県別収穫量

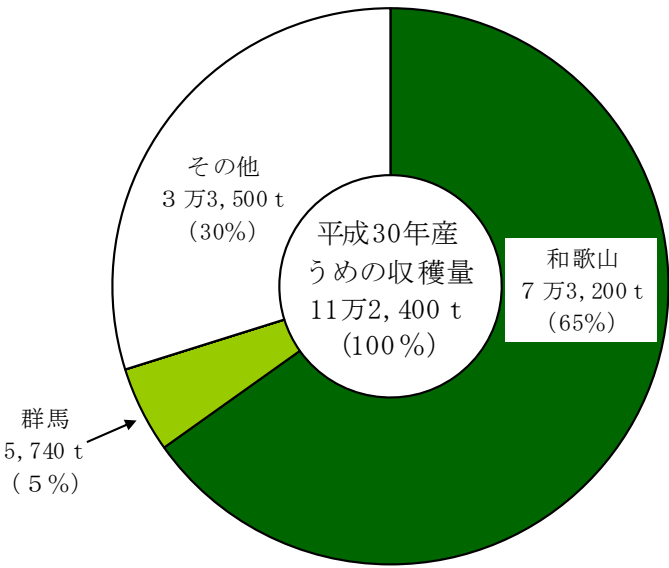


表11 平成30年産うめの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
うめ	14,800	759	112,400	99,200	98	132	129	131

(11) ぶどう

ア 結果樹面積

結果樹面積は1万6,700haで、前年産に比べ200ha（1％）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,050kgで、前年産に比べ10kg（1％）上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は17万4,700 t で前年産に比べ1,400 t（1％）減少、出荷量は16万1,500 t で、前年産並みとなった。

都道府県別の収穫量割合は、山梨県が24％、長野県が18％、山形県及び岡山県が9％となっており、この4県で全国の約6割を占めている。

図 22 ぶどうの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移

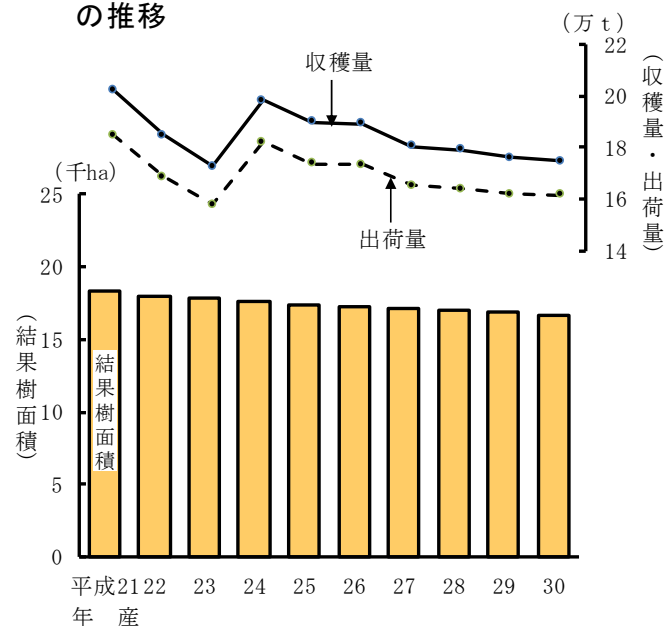


図 23 ぶどうの都道府県別収穫量

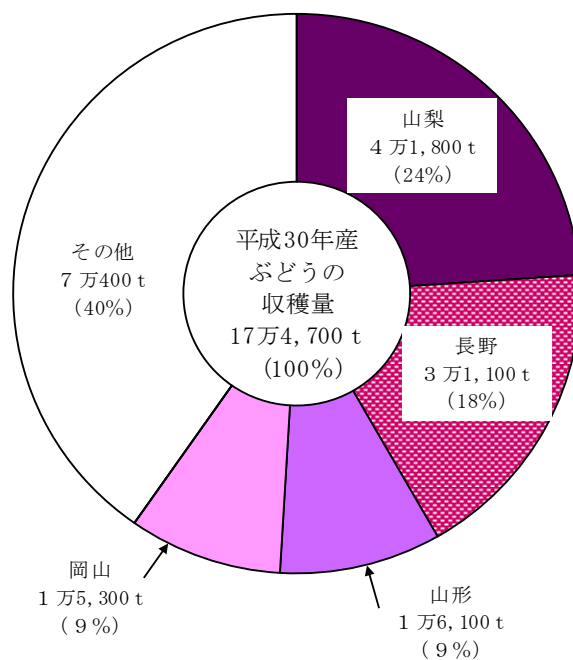


表 12 平成 30 年産ぶどうの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
ぶ ど う	16,700	1,050	174,700	161,500	99	101	99	100

(12) くり

ア 結果樹面積

結果樹面積は1万8,300haで、前年産に比べ500ha（3%）減少した。
これは、高齢化による労力不足に伴う廃園があったこと等による。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は90kgで、前年産に比べ9kg（9%）下回った。
これは、7月から8月の高温、少雨の影響で果実の肥大が抑制されたこと及び関東以西で台風による枝折れ、落果等の被害が発生したためである。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は1万6,500t、出荷量は1万3,000tで、前年産に比べそれぞれ2,200t（12%）、1,500t（10%）減少した。
都道府県別の収穫量割合は、茨城県が27%、熊本県が16%、愛媛県が5%、岐阜県及び埼玉県がそれぞれ4%となっており、この5県で全国の約6割を占めている。

図 24 くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移

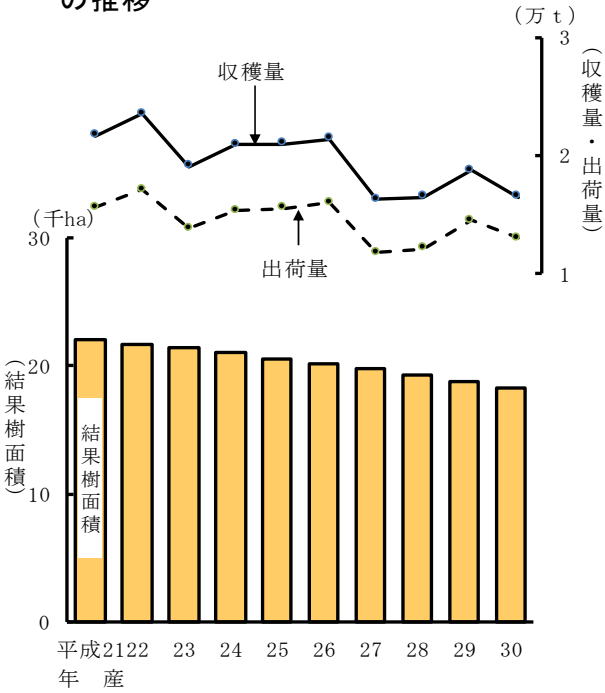


図 25 くりの都道府県別収穫量

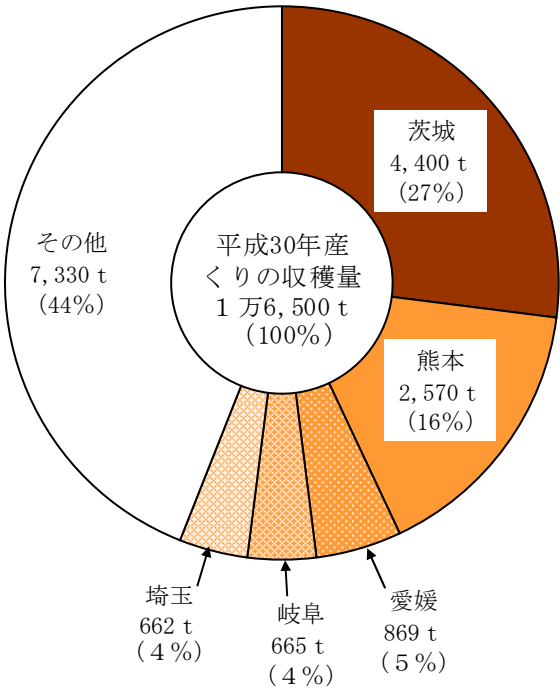


表 13 平成 30 年産くりの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
く り	18,300	90	16,500	13,000	97	91	88	90

(13) パインアップル（沖縄県）

ア 収穫面積

収穫面積は319haで、前年産並みとなった。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は2,300kgで、作柄の良かった前年産に比べ380kg（14%）下回った。

これは、少雨による茎葉の生育不良や果実肥大の抑制があったことに加え、収穫期の台風による被害が発生したためである。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は7,340 t、出荷量は7,160 tで、前年産に比べそれぞれ1,160 t（14%）、1,150 t（14%）減少した。

出荷量を用途別にみると、生食向けは4,780 t（67%）、加工向けは2,380 t（33%）となっている。

図 26 パインアップルの収穫面積、収穫量及び出荷量の推移（沖縄県）

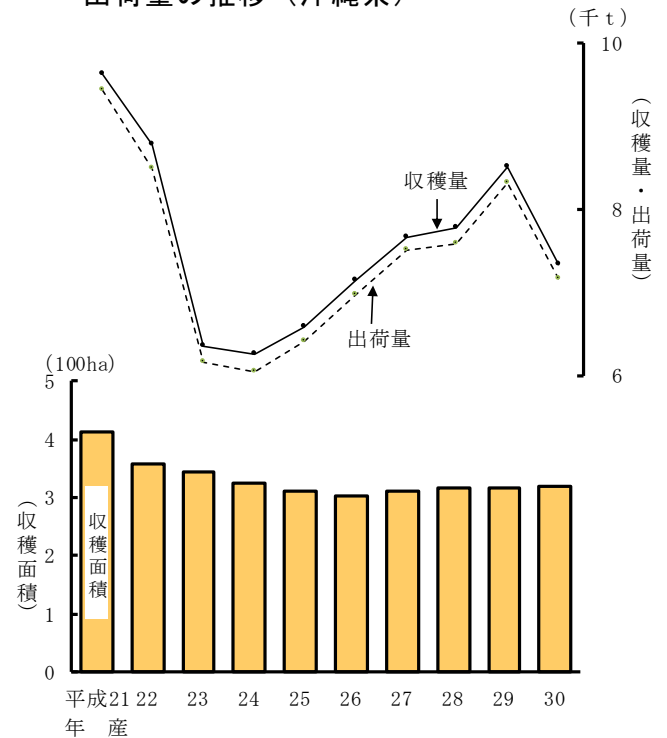


図 27 パインアップルの用途別出荷量（沖縄県）

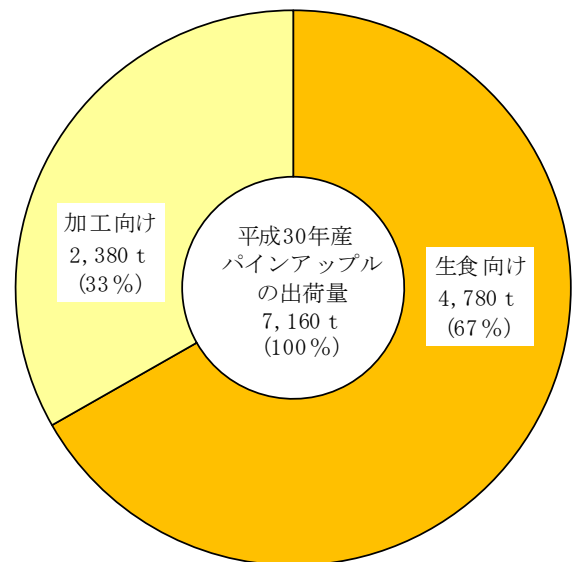


表 14 平成 30 年産パインアップルの収穫面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（沖縄県）

品 目	収穫面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					収穫面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
パインアップル	319	2,300	7,340	7,160	101	86	86	86

(14) キウイフルーツ

ア 結果樹面積

結果樹面積は1,950haで、前年産に比べ50ha（2％）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,280kgで、前年産に比べ220kg（15％）下回った。

これは、7月中旬以降の高温、少雨の影響により果実の肥大が抑制されて、小玉傾向になったこと及び台風による落果、傷果等の被害が発生したことによる。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は2万5,000t、出荷量は2万1,800tで、前年産に比べそれぞれ5,000t（17％）、4,400t（17％）減少した。都道府県別の収穫量割合は、愛媛県が21％、福岡県が18％、和歌山県が12％となっており、この3県で全国の約5割を占めている。

図 28 キウイフルーツの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移

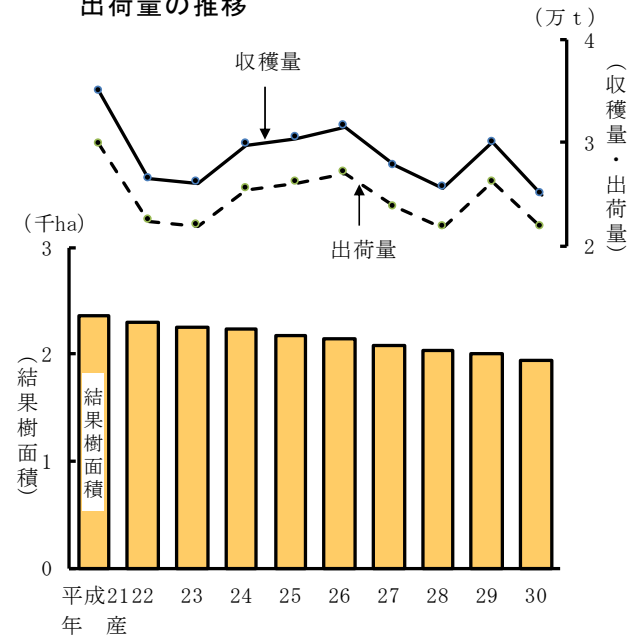
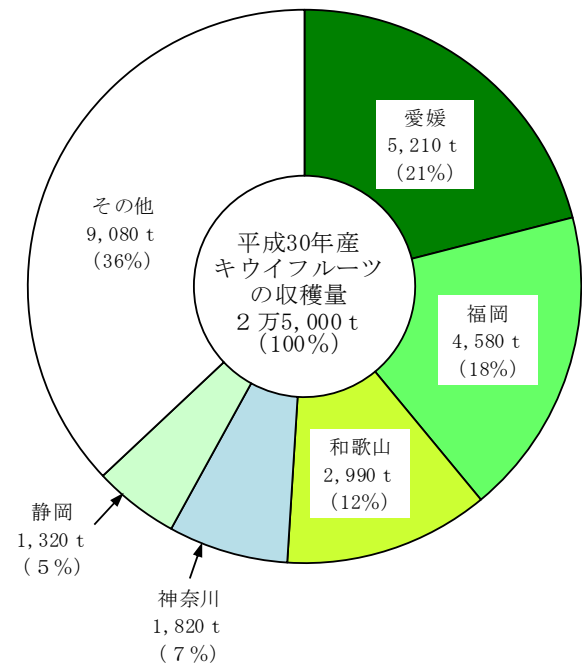


図 29 キウイフルーツの都道府県別収穫量



注： 割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

表 15 平成 30 年産キウイフルーツの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
キウイフルーツ	1,950	1,280	25,000	21,800	98	85	83	83